

V1N3 FEATURES

THIS ISSUE:

HOT FOR TEACHER
 AMERICAN HISTORY X'D
 THE BEST ACADEMIC WRITING OF 2004
 TRENCHCOAT MAFIA
 TEACHERS ARE STUPID
 TEACHERS AREN'T STUPID
 HIPPIY FASCISTS
 IRON BOY
 GRADE A STUDENT
 TOTAL ECLIPSE OF THE HEART
 GOT A CRUSH ON YOU
 HEAR ME NOW!
 INSTITUTIONALIZED
 FREE SHYNE!

REGULARS:

BY DESIGN
 DEAR DIARY
 DOs & DON'Ts
 FASHION
 I WANT MY DVDs
 PICTURES
 POCKETS DUMB FAT
 SKINEMA
 TIDBITS

BACK ISSUES

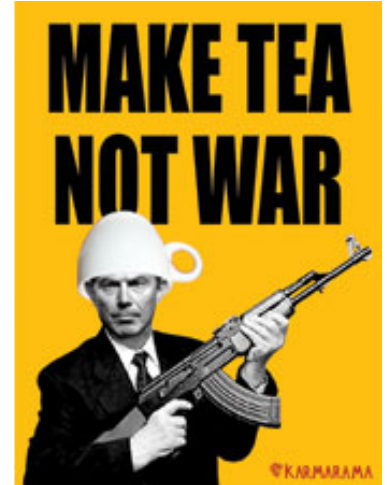
BY DESIGN



ウィリアム・H・ブラッドリー:書籍
 広告、リトグラフィ 1890年/シカ
 ゴ/35.5×43.5cm



ヨゼフ・ミュラー=ブロッ
 マン:コンサート・ポス ター、
 オフセット印刷、1955年/チュ
 ーリッヒ/ 90.5×128 cm



『Graphic Agitations2』は、戦
 争に関して徹底的に非難してい
 るから、もし君が戦争オタクで部
 屋の棚が第2次世界 大戦モノのビ
 デオで溢れかえっているようだっ
 たら、この 本を読む必要はない
 かもしれない。

コンピューターのおかげでデスクトップ・パブリッシングという力を 誰もが手に入れるにつれ、学校でグラ
 フィックを学んできた多くのデ ザイナーたちは、いつのまにか自分たちの周りのデザイナーがみん なコマー
 シャル・デザインのダーク・サイドへとシフトし、すっかりア ーティスト様になってしまってることに気が
 始めた。僕は「自分は そんな出遅れたヤツらとは違うんだ」なんて言うつもりはない。僕ら みたいなデザイ
 ナーのほとんどは独学だし、学校で教えられるグラ フィックの授業の外にも目を向けなきゃならない。98年以降
 はイン ターネットもすっかり常識になってることだし、とりあえず最近発売 されたこれらの書籍はぜひチェッ
 クしておくべきだと思う。

もし君が僕らと似たようなデザイナーで、最高にクールなTシャツ を作るための
 最短ルートを知りたいのなら、まずはミルトン・グレイ ザー著の『IDEA
 Archive 2』(idea-mag.com)からスタートしてみることを薦める。ミルト
 ン・グレイザーはデザイン業界の生きる伝説だ。もし君がタイポグラフィやイラストレーションを仕事にし
 ている、もしくは忍術の修行中でも何でもいけど、うまくマッチする2つの 色の組み合わせを選ぶのに苦労
 した経験が1度でもあれば、ミルトン・グレイザーがシンプルなモノクロ・インクでデザインするのと同 様
 に、いとも簡単に様々な物や数字を鮮やかにコラージュしてしま うその手法を見せつけられれば、きっと屈辱
 的な体験となるだろう。これまで多くの人が彼のデザインをパクってきた。つい先週も 彼の有名な「I
 ♥NY」のデザイン・ロゴが「I♥T.O.」に流用されている のを見た。申し訳ないけど、トロントっていう街は、鼻
 の中にできたお できほどイヤな街だ。

[Click here to advertise
 on Viceland](#)

大衆的なポスター・デザインにもっと興味があるのなら、1971年 に出版されたポスターの歴史についての本の
 復刻本がフェイドン・ プレス社から出ている。共著者に名を連ねているのはスイスデザ イナーのヨゼフ・
 ミュラー=ブロックマンで、精密さとダイナミック なコントラストに重点を置いた正確なレイアウトを目指
 しているよう な人にとっては、この本がとても頼りがいのある参考資料になるだ ろう。加えて、この本はドイ
 ツ語とフランス語、英語で書かれているか ら、鏡張りのコーヒーテーブルの上なんかにはさりげなく置いておけ
 ば、「僕は今夜パーティだ。君は僕と一緒にいたくないからベッドか ら起きてこないんだ」みたいなスカした
 ムードを演出できるかもしれ ない。唯一の問題はこれが歴史的な観点から書かれていることだ。そこではミュ
 ーラー=ブロックマンは、どのようなポスターが優れているのかということについて彼がいかに頑固な理論を

持っているか ということ を明らかにしている。それは大抵グリッド線を重要視した ゲンナリする ようなものや、客観的なミニマリズムだったりする。したがってこの本には、誰もが挙げるだろうベン・シャーン(米国の社会派写真主義者)や横尾忠則(超人ヒッピー)、それにサウル・バス(ヒッチコック映画『めまい』のポスターをデザイン)のようなグリッド線のマス目には収まらない伝説的デザイナーたちの代わりに、著者自身による23点の作品が掲載されている。もし僕が『驚異の巨根図鑑』という本を出版する時には、そこに自分のチンコばかり載せることを忘れないようにしておこう。いずれにしても、作者のどうしようもない自惚れを除けば、レイアウトや、アニメーション・タイトル、デザイン・タイポグラフィをやるうとする人たちにとっては、素晴らしく貴重な本であることは間違いない。

権威(もしくはブッシュ。とにかく間抜けな権威への風刺目的なら何でも)に対しグラフィックで一泡吹かせようって考えるアナキストなりたてホヤホヤの諸君には、同じくフェイドン・プレス社から出ている『Graphic Agitations 2』がお勧めだ。全240ページのこの本では、クリエイティブな政治的抵抗、ブランド破壊活動、それにオルタナティブなメディア戦術についての要約がまとめられている。この本はまさに現在の状況にうってつけの本だと思う。なぜなら、ここ数年の公共の場所でのカルチャー・ジャミング(路上や様々な場所でアートを表現する行為)は、単なる空虚なブランド化へと向かってしまっていて、ガキどもが次なるKAWS(パッテン目のキャラクターで知られるグラフィック・アーティスト)の座を狙うだけの状況に成り下がってしまってるからだ。確かに、コーヒー・テーブルの上に飾りみたいに置いとく本としては、ちょっと皮肉っぽい感じがするかもしれない。でもそんなこと気にするな。権力者たちに身の程を思いしらせてやろ。まあ、ブッシュがもし文字を読めたらの話だけだ...

最後はイェール大学出版の『Notes on Book Design』だ。もし君が装丁デザイナーっていう肩書きでハツタリを効かせようと思ってるのなら、何冊かは真面目な資料ぐらい持っておかなきゃ駄目だ。この本や『The Elements of Typographic Style』のようなタイポについての優れた本を持ってさえいれば、きっと様々なスタイルの装丁やエディトリアル・デザインにも使えるデザインのコツをつかむ事ができるだろう。著者のデレク・パーズオールは、ブック・デザインの骨組みとデザイン・プランの立て方について鮮やかに指し示してくれていて、さ

70ページへ続く

Send this article to a friend.	Your email:	Their email:	
-----------------------------------	-------------	--------------	--

Comments:

Subject: cool
Date: Sep 24 2004 02:30:32 PM
Author: BEIGE

BABELFISHIはスゲーもんだな ~ :P

Subject: .
Date: Sep 24 2004 01:34:21 PM
Author: .

Post a comment:

(posts that are not on topic will be removed)

Name:	
Subject:	